

チャンネル24

2233

2025 9 15

56条廃止と国保に傷病・出産手当 地元国会議員が紹介議員に

| 9月 | 行事・会議など日程 | 支部・専門部など |
|--|---|--|
| 15 月 16 火 17 水 18 木 19 金 20 土 21 日 22 月 23 火 24 水 25 木 26 金 27 土 28 日 29 月 30 火 | 敬老の日 記帳相談会 13:30～ ↓ 消費税引下げ宣伝 17:30～黒崎 福商連役員学習会 久留米 ↓ 北九州B婦人部学習会 13:00～ウエル戸畠 秋分の日 税制改正学習会 (昼から事務所閉めます) 財政新聞部会／共済理事会 19:00～ 日本母親大会 東京 ↓ オンライン 月末集金 法人集団申告 11:00～ |   |
| 10月 | 行事・会議など日程 | 支部・専門部など |
| 1 水 2 木 3 金 4 土 5 日 6 月 7 火 8 水 9 木 10 金 11 土 12 日 | 全商連自主申告サポート学校開校 (オンライン) 福商連共済会ディスコン大会 宗像ユリックス 常任理事会 19:00～ 婦人部役員会 13:30～／折尾支部役員会 19:00～ 無料法律相談 18:30～ 税務署交渉 陣原支部役員会 18:00～ | |



元国会議員の猪方さんと懇談した役員ら

第19回全国業者婦人決起集会に向けて

八幡西民商婦人部は、9月3日に地元国會議員の緒方林太郎衆院議員の事務所を訪問し、第19回全国業者婦人決起集会に向けて、「所得税法第56条の廃止を求める請願」と、「国保加入者に傷病手当、出産手当を給付する制度の確立を求める請願」に対する賛同のお願いを行いました。

懇談には、水元部長、大谷副部長、宮崎役員、正岡事務局員の4人が参加しました。

国保加入者に傷病手当、出産

手当を給付する制度の確立については、国會議員は、国民健康保険ということで、緒方議員は、自分たちで組合を立ち上げ手厚い制度を行っていました。また、「國の分も任せてください」という状態でしたが、今では、組合健保から「國へ預かった分を戻したい」というのが増加。収支がとれなくなつており、国保はとても貧乏なので、国保の制度を手厚くするのは難題ですが、「請願するのであれば紹介議員になります」と快諾して頂けました。

も家族経営の方はいるでしょう」と投げかけ、議員の周りの人々に目を向けさせることも重要なと話しました。「56条も請願をするのであれば紹介議員になります」とこちらも快諾して頂きました。

56条は、全国で582の自治体が意見書を探査しています。緒方議員も「埼玉県の人口60万人の川口市で採択されている。56条について多くの議員に知つてさえ貰えれば、党派関係なくわかつてもらえると思います。」と私たちを応援してくれました。

魅力ある民商・紹介したくなる民商へ 福商連 第21回 事務局員交流会

福商連第21回事務局員交流会が8月26日、27日に久留米市にて開催され県内事務局員50人が参加しました。

1日目は田口会長あいさつにはじまり、報告と問題提起を吉原事務局長が報告。消費税減税・インボイス廃止運動の飛躍、班・支部建設。相談活動に磨きをかけ、新たな役員づくりへの挑戦などを訴えました。



報告と問題提起 全体会場

その後の分散会では4つに分かれて、事務局員の役割や個別の悩み、税務調査や役員づくりなど、日頃、話す機会の少ない他民商の事務局員と貴重な意見交換の場となりました。

夜の懇親会ではおいしい料理やお酒をいただきながら、自分を漢字一文字であらわしての自己紹介で笑い合いました。

2日目は「参議院選挙後の政治情勢」と題して日本共産党の田村貴昭衆議院議員が講演。参議院選挙で消費税減税・インボイス廃止を求める野党が伸長し、自公政権は過半数割れしたこと

で民意ははっきりしていること。野党に消費税減税を求める運動と一緒に進めることを呼びかけました。また、ガソリン税の暫定税率廃止に向けて野党での話し合いが行われていること、今年度8.7兆円という異常な大軍拡予算を批判。軍拡予算でなく、私たちの生活予算に回し、平和でこそ商売がやっていくことを訴えました。

パネルディスカッションでは、増勢民商の取り組みとして東福岡民商の竹ノ内事務局長。大きな民商の活動として田川民商の市原事務局長と久留米民商の稻吉事務局次長。民商合併と今後の展望として福岡・博多民商の宇治田事務局長。合併後の新たな取り組みとして福岡・博多民商の宮崎事務局員が報告しました。



パネリスト 各民商の皆さん

閉会のあいさつでは田口会長より、2日間で学んだことをそれぞれの民商で実践することが呼びかけられ、最後に団結頑張ろうで交流会を終えました。



みんな気持ちをひとつに 団結がんばろー

【感想】

○清水事務局長

分散会では各民商の税務調査の取り組みや支部建設、役員づくりなどで交流が出来ました。

パネルディスカッションでは東福岡民商や田川民商の会員の要求に寄り添い、問題解決に向けて相談活動している取り組みなど学ぶことが多くありました。

八幡西民商でも、今年度、会員読者を増勢に出来るように役員と一緒に考え取り組みたいと思います。

○中園事務局員

分散会の話で、外国人の会員が増えている民商もあり、地域柄もあるかもしないが、これからは外国人の事業主を掘り起こすことも必要なかもと感じた。

東福岡民商が作成している、民商案内の簡易的なパンフレットがあるだけでも、会員訪問時に渡して案内できたりするので、是非とも八幡西民商でも作成して、役員・会員に配布し、拡大に取り組みたいと思います。

生命を生みだす母親は 生命を育て
生命を守ることをのぞみます

第70回 日本母親大会in東京

母親大会の はじまりとあゆみ

1954年、ビキニ環礁でのアメリカの水爆実験で多くの漁船が死の灰をあびました。広島、長崎につぐ3度目の被爆に母親たちは怒り、平塚らいてうさんら6人は全世界にむけ「原水爆禁止のための訴え」を送り、1955年スイスのローザンヌで世界母親大会の開催が決まりました。それに先立ち6月、第1回目日本母親大会が東京で開かれ2,000人の女性が集まり、河崎なつさんを团长に14人の代表を送り出しました。その後、子どもと教育・暮らし・平和を守ってたくさんの母親・女性たちが行動し、貴重な成果をあげながらジェンダー平等社会の実現めざし、70余年をあゆみ続けてきました。

第70回母親大会に 参加しましょう

世界母親大会によせられたギリシャの詩人ペリディス夫人の詩の一説「生命(いのち)を生みだす母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます」は、母親・女性の心をとらえ、連帯のスローガンになっています。「核戦争から子供を守ろう」との母親たちの熱い願いから始まった母親大会はだれでも参加できます。格差と貧困のひろがる厳しい情勢のときだからこそ、母親大会に集い、明るい未来をきりひらく力にしていきましょう。ひとりで悩んでいる人にも声をかけ、北から南から、世代をこえて誘い合い、呼びかけあって参加しましょう。

第2日目の全体会をオンライン視聴します

日 時：9月29日（月）

12:30～15:30

会 場：民商事務所

参加費：無料

※婦人部負担

参加される方は、婦人部担当正岡（641-2417）までご連絡ください。

【記念講演】

戦後80年と不戦の決意

日本とアジアを

再び戦場にしないために

《講 師》

布施 祐仁さん
ジャーナリスト

